

石拔撰穀機

実 願 昭 38-75264
出 願 日 昭 38. 10. 3
考 案 者 出願人に同じ
出 願 人 阿部彦七
東京都足立区千住4の63
代 理 人 弁理士 野沢睦秋

図面の簡単な説明

第1図は縦断側面図、第2図は選別多孔板の平面図、第3図は第2図X-X線の縦断正面図である。

考案の詳細な説明

本案は振動式選穀機における改良に関し、振動する選別多孔板の上端部に砂礫に混油して集合しようとする穀粒を下方に流下させて選別するようにしたものである。

以下本案を図面について説明すると、1は機枠2は選別多孔板で機枠1に架設した前後の支枠3、4で傾斜吊設されると共に後端において駆動輪6のロッドで支持され該駆動輪6により前後に往復運動し、選別多孔板2の下部に固定した風胴7内の風車8の回転で発生した風を選別用孔から噴出さし、漏斗9から選別多孔板に供給される穀粒を浮上して前方に流下排出し、その際米に混在する穀粒より比重の大きい砂礫を上方に遡上集合させて選別する。

斯る石拔選穀機に於て選別多孔板2をこれが両側壁10、10'を後端部に於て入型に形成し、該両側壁10、10'内に選別用孔11を形成すると共に前記入型部内端に石抜孔12を穿設し、更に該入型部両側における選別多孔板に通孔13、13'をそれぞれ穿設して風胴7の開口後部と連通させ又この入型部両側壁の後端部における上部に多数の通気孔14を穿設すると共に該通気孔部分に於ける両側壁上縁を後端に向けて傾斜切除し斯る入型部に石抜孔12及び両通孔13、13'の上部を遮蔽すると共に上記両側壁10の上縁との間に間隙を形成し且前面を開放した覆枠5を装着して成るものである。尚図中15は石抜孔12に連結したパイプ、16は石抜孔12に施したダ

ンパーである。

上記のように構成した本案は機械を運転させて漏斗9から穀粒を選別多孔板2上に供給すると、選別多孔板2は前後上下に往復運動し、風車8の回転で発生した風は選別多孔板2の選別用孔11から噴出し、該噴風により供給された穀粒を浮上させながら流下し、排出口から排出する。そうして穀粒中に混在する比重の重い小石は上方に遡上し後端の入型部に集合する。

而しその際一部穀粒が小石と共に遡上するがこの穀粒は風車で発生した風の一部が矢標で示すように選別多孔板2の入型部における両側壁10、10'外側面に形成した通孔13から噴出し、これが前記両側壁10、10'と覆枠5との間隙より入型部内選別多孔板2上面に吹付けるので、この風力により下方に吹き下げられて流下し、小石のみが入型部内に集合する。そうしてこの小石は内端の石抜孔12からダンパー16の開放によりパイプ15から連続的に排出するものである。

本考案は上記のように往復運動する選別多孔板2の両側壁10、10'の後端部を入型に形成しこれが内端に石抜孔12を設けると共に前記両側壁10、10'の入型部外側における選別多孔板2の無孔部分に通孔13、13'をそれぞれ穿設し、該入型部分に通孔13、13'を含めて前面開放の覆枠5を両側壁の入型部分上縁との間に間隙を設けて冠着し、選別多孔板下面に下方から吹付ける風車8で発生した風の一部を通孔13、13'から上方に噴出させ、これを両側壁10、10'上縁と覆枠5との間より入型部分の多孔板上に吹付けて小石群と共に遡上集合する比重の小さい一部穀粒を下方に吹き下げ、小石のみを入型部分内端に集合させるようにしたから従来のように小石群のなかから穀粒を拾い別する手数が省ける。

又選別多孔板2に入型部両外側に位置させて風胴7と連通する通孔13、13'を穿設して風車8で発生する風の一部を上方に噴出させ、これを覆枠5の誘導で選別多孔板2の選別用孔11面後部に吹き付けるようにしたから構造が極めて簡単である。

更にこの通孔13、13'は風胴7の開口後部において連通しているから選別用孔11下面に吹

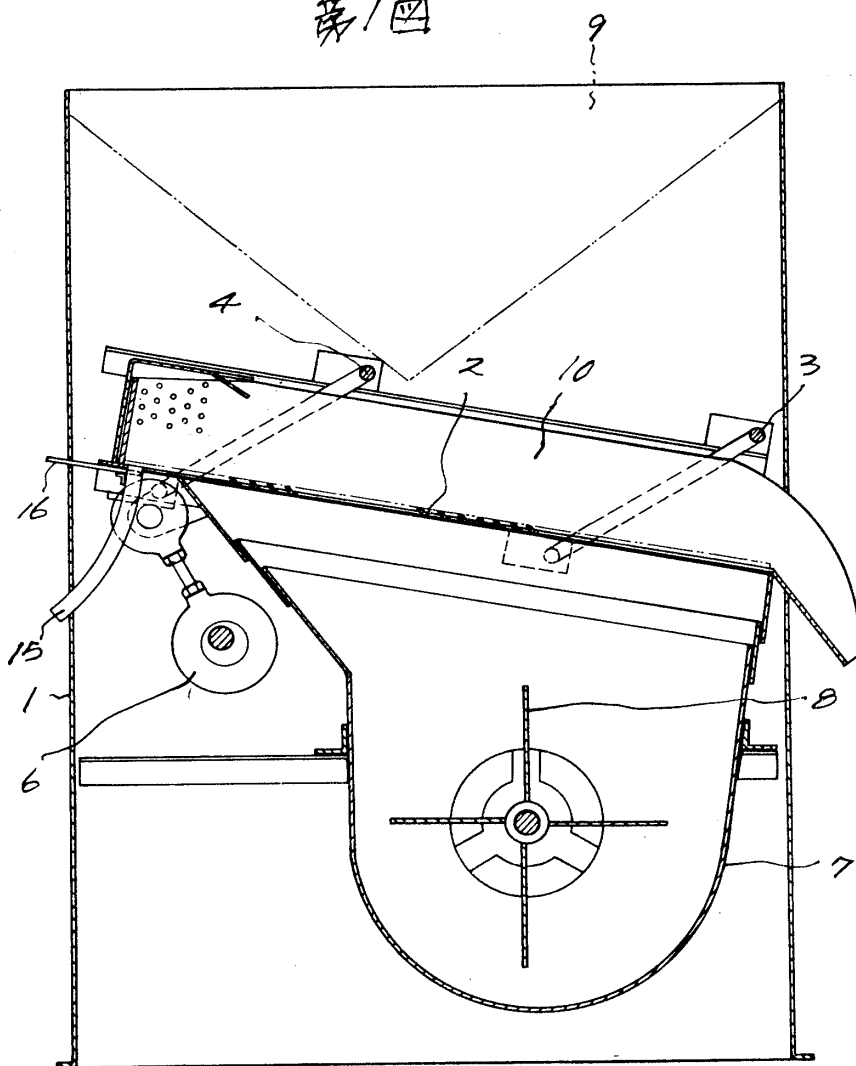
付ける風力が弱まることは全く無い等の諸効果を有し能率良く選別することができるものである。

実用新案登録請求の範囲

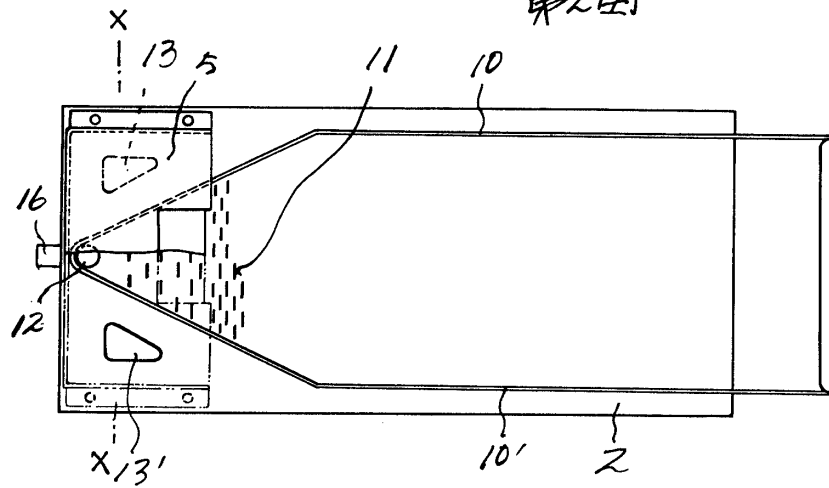
振動式選穀機において、振動する選別多孔板2をこれが両側壁10、10'の後部を内方に折曲して八型に形成し、該両側壁内に選別用孔11を形成したものとすると共に八型部の内端に石抜孔12を穿設し、更に該八型部の両側に通孔13、

13'をそれぞれ穿設し、斯る八型部に石抜孔12及び両通孔13、13'の上部を遮蔽すると共に両側壁10、10'の上端縁との間に間隙を形成し且つ前面を開放した覆枠5を冠着し、選別多孔板2に下方から吹付ける風の一部を通孔13を通じて両側壁10、10'上縁と覆枠5下面との間より八型部分多孔板面上に吹付けるようにした石抜選穀機。

第1図



第2図



第3図

